

機械器具(74) 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット JMDN 70400000

ネオフィード®栄養ボトル

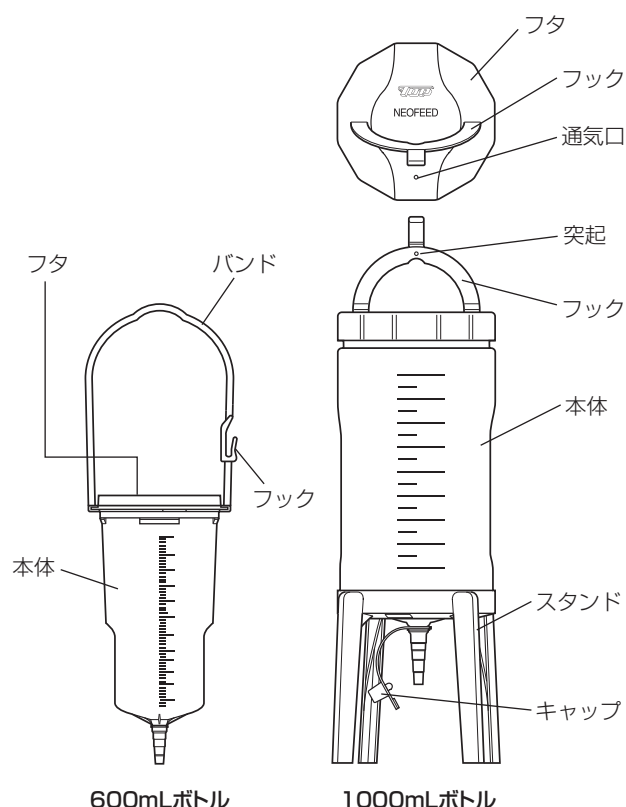
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・血管系ラインとの接続はしないこと。[血管に経腸栄養ラインに投与されるべき内服液剤等が投与され、重篤な症状になるおそれがある。]

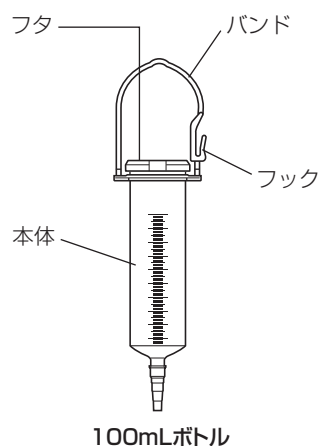
【形状・構造及び原理等】

<構造図(代表図)>



600mLボトル

1000mLボトル



100mLボトル

(材質)

本体	ポリプロピレン
フタ	ポリプロピレン及びポリエチレン
キャップ	SEBS
スタンド	ポリプロピレン

【使用目的又は効果】

- ・本品は経腸栄養剤を投与するために使用する。

【使用方法等】

<100mL及び600mL容量の場合>

1. 包装側面の開封口より開封し、汚染に十分に注意しながら本品を包装内より取り出す。
2. 本品に栄養セット(経腸栄養注入セット)をしっかり接続する。
3. 栄養セットのクレンメを閉じる。
4. 流動食又は栄養剤を汚染させないように本品に入れ、フタをする。
5. 本品をガートル台のハンガーに吊り下げ、栄養セット内のエア抜きをしてから、留置チューブに接続する。
6. 栄養セットのクレンメを開け、速度を調節して、適切な流量で投与を開始する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・栄養剤等を入れた状態では、フタのほう为上にくるように維持すること。[フタは密栓できる構造ではないため、傾けたり、振ったりすると、内容物が漏れるおそれがある。]
- ・バンドの途中に付いているフックは、準備中の栄養セットなどのチューブを引っ掛けておきたいときに使用し、チューブのクランプとして使用しないこと。[送液のおそれがある。]

<1000mL容量の場合>

1. 包装側面の開封口より開封し、汚染に十分に注意しながら付属のスタンドに水平に置く。
2. キャップをしっかりと閉め、ボトルをスタンドに立てる。(1000mLボトルは本体とスタンドを横にひねることにより、固定することができる。)
3. ボトルのフタをはずし、経腸栄養・成分栄養などの粉末と適量の水または微温湯を入れ、フタをしっかりと閉める。その際、フックの突起部をフタ側に倒し、フタの通気口がしっかりと閉じられていることを確認する。両手でキャップとフタをしっかりと押さえながら攪拌する。
4. フタが下になるようにボトルを立て、キャップをはずし、栄養セット(経腸栄養注入セット)などを接続する。

5. 栄養セットのクレンメを閉じる。
6. 本品のフックを引き起こしガートル台のハンガーに吊り下げ、栄養セット内のエア抜きをしてから、留置チューブに接続する。
7. 栄養セットのクレンメを開け、速度を調節して、適切な流量で投与を開始する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・本品への接続に際しては、カテーテルテーパーを有するコネクター等と接続すること。[漏れや外れのおそれがある。]
- ・本品への接続に際しては、しっかりと奥まで押し込むこと。[外れるおそれがある。]
- ・本品への過度の引張りや、接続部に対する過度の応力を加えないこと。また、患者の体動による栄養ラインの押し潰しには十分注意すること。[接続部の破損、緩みや外れ等が生じるおそれがある。]
- ・使用前、他のコネクター等としっかり接続されていることを確認すること。また、使用中は本品の破損、接続部の緩み及び液漏れについて定期的に確認すること。
- ・接続部に栄養剤等が付着すると、接続部に緩み等が生じる場合があるので注意すること。

<不具合・有害事象>

- ・本品の使用にともない以下の不具合が生じる可能性がある。
- 1) 不具合
 - ・接続部よりの漏れ、外れ（接続部への栄養剤付着や過剰応力等）
 - ・バンド、フタ、フックの破損（過剰応力等）

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- ・水ぬれに注意して保管すること。高温又は湿度の高い場所や、直射日光の当たる場所には保管しないこと。

<有効期間>

- ・内箱の使用期限欄を参照のこと。
(自己認証により設定)

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社トップ（添付文書の請求先）
TEL 03-3882-3101

